II. NO.14 MANZANAR RESS FREE September 1912 VOL. Traps. "H artest w crtors Loove TVosday" (Pres Pross Sopt. 21, rege 1, Col. 、序によ 申込者 た大。根 向 戚 匹 院記 日. に見送 K 出 乘 就 は 初 午後一元氣旺盛 朩 壯途 除き られて 働 が 查 、る筈である。途 K 弘 配 ある 四 つく事 は は御無 夫 晶 バー 荷物の 明 か 々 7 ンタナ砂糖 され 日は 四 抽 族 亦 0 K 用 な一 檢 籖 なつ 知 づばれ 日本 ウ 查 9 四 9 語を貰ふ 第一 る はれる は 他 て 氣候はア 事を見 の豫定だと述 セン 次のアイダホ みる の追 ンザ 團 ター に機 者は は アイダ 物 1 て同 ロン 當局 ح 運 t で り四 行 より K 返 n 0 て居 は な 濟 百 0 7 支給さ つてある。 件 K る マ 名モンタ H 。荷造 此 會社 ル に満 は ラツクが荷 ガ 處 すると。 宛 れた軍 就 メ 働 物 K 代 すると 同 B 日 I b 滯に れる筈。 "To the people of Manzanar," 到 され ッチ氏に ダホ轉住 21, Pago 2, Col. 1) (Free Press, Sopt. る 次第 あらう る 烈に學童を 開ゲ 所から大 部分の勞働者 會 てな 校学 祉 つて つて最初の百 から 延』 期學 ゼネ ħ を完 み次 方 技 0 さ校 ダホ 如き困 師 成する IJ 第 建築部 ます ゐ ブラ て から 居 來教 未 着師 だ完備 には RO が教室のは衛 ムが じは 類 氏 て家 0 は 5

o大根

O

胡

0 で

オクラ

q

کا

1

亦社說等

の飜譯

日

本語證

者

0

三炭樂室にて縫物

造

愛會が開催され、好評を

と

及

カブラ等

あ

る

見地

を考慮

n

で、伸 は

縮自在

VE

ます。

てみます。

し原文

眼

點

を

取

違

へてゐ

る

來観を希望

てゐますが、

は

の細 物

は觸

やう
注

ゐます。 品品 さん ワーショ

西瓜。

種瓜類

赤

に錯綜を來す事があ

ります。

: }

十五、十六一

十五 C

Press

シ。

ツキニの南

瓜

0

ハバー

1

ス

輯、組

立を變 日本語

へる導

があるので、記事

縫

緺

物

及

造 5

花 #

展

鳢

Mantanar produce exhibi

評判

良

くなって來

稿を失敬し

て緑彩

、英文欄

の發

あすっ

タイヤを破損さす者

々 を今

K 動

兒を怪我

たり、

今少し皆が公共

0 が往

利

日本語

辑· 前

の英文記

事の

なる事

れません

にの中に

Sopt:

てみると と對する

尙出

は

7

スク

ワー

行

され

る前日

に、發行され

てみます

頭

に置くべきでなか

うか

9 盆

發 行後、英文欄は編

24

1942)

て

日本人農

の腕 派

前

K

感

てある。

Ŋ.

に當地日本

來る米

人は立 心に惹

な出

딞

2

見

前 刷

VC

され、その鳥

にニュ

スの種

理徳を喧し

れて見物

K

される都合上、發行日

の二三日も

. . K

はローンパイン町

0

EI

0.

A

ざるを得

VC

5

7

には理解に苦し

がある

たい

别

さ

瓶を賣り

な事

さ ない。

力がな

0

がら注目と賞讃を受け

てあ

明日午後一時半より第

M

食堂

K

於

. 57

ij

0

10

20

買

废

て開

かれる筈

である

五十

定の各

は

五

毎に から

等一人人人

中であります。

グリンハウ

スを

賣

b.

=

1

ロン娑婆で

へた

腕

を

と時せ

グリ

ハウ

スを 栽

購入

たく目下

奔

走

7

3

. 鍛

柳

され

ます

廿

水

ゴム

蓝 7

所では

住者よ

b

十部人門

されるマンザ

勒勞團 表

集會

沟

門の代

者

k

よつて

構成

事

Vit.

あり

玄

4

K

明

日

開

か

n

る

0

增員

代表

者は

全部出

たい

り之等

たい

方

は

支

鮀

渡

邊

氏

迄

御

溫

手

よく

各職

門上

h

並

ZX

に代表

香港以面台

0

1

な

話

致

ます

さい

が目下

1

イン 重

町キヤレ

日

本

產

一の農 陳列

產

物 7

野ヒ日代である

で

さる

あ

る

0

因

·K

司會

者は新

会し

人

0

アント

所內

にて陳列され米

7

4)s

.0

40